

うぐいす

TAKE FREE
ご自由に
お持ちください



～ 目次 ～

- | | | |
|-----------------------------|--------------------|-----------------|
| 1 P 表紙 院内コンサート (詳しくは7 P) | 4 P 医療・介護福祉連携室会議 | 7 P・8 P 感染管理室から |
| 2 P 新年を迎えて 宗像秀樹院長挨拶 ・新任医師紹介 | 5 P 部門紹介 (臨床検査技術科) | |
| 3 P 職員紹介 (透析看護認定看護師) | 6 P トピックス | |



新年を迎えて

千厩病院長 宗像 秀樹

皆様、明けましておめでとうございます。

令和になって初めて迎えるお正月です。加えて、干支の始めの子年です。

子年は子孫繁栄・子宝・生命の始まりの意味があるそうです。ネズミの妊娠・出産まで3週間と早く、一度に多くの子を産むことから、子年は子孫繁栄・子宝・生命の始まりの意味があるそうです。子年に肖って、少子高齢化の波を乗り越えるきっかけが欲しいモノです。

年末に、総合診療内科の伊藤貞利先生が中央病院へ転勤となり、新たに菅野恵也先生が元日から勤務されています。地域の皆様、宜しくお願いします。

2024年から医師の働き方に関する労働基準法が適用されます。昨年は当直の考え方の整理、労働時間管理、時間外労働の上限規制、勤務間の9時間インターバル、タスクシフティング等を検討しました。いずれ、法を守って救急診療の現状を維持するのは不可能と云わざるを得ず、最低でも当直可能な医師が10.5人必要と試算され、さらなる工夫と患者さんの病院利用法も考えていただかなければならない事態です。時間内受診、時間内の病状説明等のご理解・ご協力が必要です。

昨年12月25日に医師の応召義務に関する考え方が厚生労働省より提示されました。診療時間外には、診療の求めに応じない事が正当化されるとされました。

「求められれば病気で動けない時以外は必ず診る」と教わった私が医者になった38年前とは隔世の感があります。

今、我が国は地域医療構想・医師の働き方改革・医師の偏在対策を、三位一体で進めようとしています。医師の働き方改革のみが進めば地域医療は崩壊するでしょう。

当院の医師確保はうまくいっていません。知恵を集めて継続可能な千厩病院の機能維持をしていかなければと穏やかな正月を迎えながら考えています。

イランと米国の険悪な状況がニュースで報じられ、千厩の穏やかな正月が嵐の前の静けさでないことを祈るばかりです。

伊藤貞利医師の後任で当院に赴任いたしました新任医師のご紹介をいたします。

よろしく
お願いま
す。

新任医師の紹介

菅野 恵也 (かの けいや) 医師

県立中央病院 腎センター所属

腎臓・リウマチ科医師

当院所属期間：2020年1月～

当院診療科：総合診療内科



岩手県立千厩病院には現在、摂食・嚥下認定看護師、感染管理認定看護師、救急看護認定看護師、透析看護認定看護師が在籍しておりますが、今回は今年度から活動している透析認定看護師の三浦真奈美をご紹介します。（この分野の認定看護師は岩手県全体でも現在3名のみです。）



はじめまして、透析看護認定看護師の三浦真奈美です。認定看護師とは、ある特定の看護分野において熟練した看護技術と知識を用いて、水準の高い看護が実践できる看護師をいいます。分野は21分野（2019年7月から認定看護師規定改正が施行され変更となります）あり、私は「透析看護分野」の認定看護師になります。

腎臓の機能が低下した患者さんは腎臓の代わりに透析（血液透析、腹膜透析があります）、または腎臓の移植が必要となります。

血液透析を受ける患者さんは、食事・体重管理・透析に使用する血管の管理など透析療法を継続していく上で社会や家庭での生活調整が必要となり、生涯継続していくことになります。最適な透析効率を保証し、安全で安楽な透析療法を受けながらその人らしい生活を送れるよう、「針を刺されるのが痛くて辛い」「むくみや呼吸が苦しい」などの症状や透析に対しての不安や「食事に制限があり何を食べてもいいのかわからない」「週3回透析への通院方法はどうしたらいいのか」「介護が必要となり、自宅で生活を送るのが難しい」など生活への不安に対して相談を受け、多職種と連携して支援しています。

また、透析が必要となる患者さんの約4割が糖尿病の合併症である糖尿病性腎症です。しかし、適切な食事療法、薬物療法を行い、血糖・血圧・脂質コントロールすることで腎機能低下を防いだり、遅らせることが可能です。外来の看護師と連携しながら外来通院中の患者さんへの関わりを持ち、腎機能を守る役割も担っています。

今後は、地域の皆様へも生活習慣病予防の大切さを、勉強会や講習会のような場を設け伝えていきたいと考えております。

認定看護師としてまだまだ経験が浅く、学ぶことが多くありますが日々成長しながら皆様のよき相談相手になれるよう頑張っております。

どうぞ宜しくお願いいたします。





医療・介護福祉連携会議

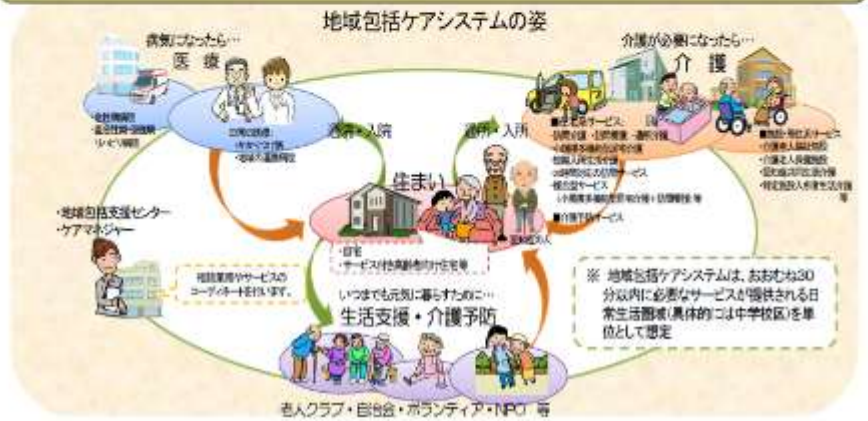
この会議は、地域住民の皆さんが住み慣れた自宅や地域で安心して暮らし続けられるように、病院と介護施設・福祉関係者がさらに結びつきを強くし協力・連携していくことを目的に、平成 28 年度から開催されています。

在宅から入院となり、回復し退院されたあとはご自宅で療養しながら地域活動へ参加されたり、介護が必要になった場合は介護サービスの利用や介護施設への入所となるなど、患者さんご本人を中心に医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供されるよう、院外の様々な職種の方々と協力しながら患者さんやご家族を支援できる体制を整えているところです。

また、季節で流行する感染症の予防や、嚥下（飲み込み）が難しい方への対応方法、認知症を持つ患者さんへの関わり方について等、研修会や症例報告等を行い情報を共有して活用しています。

地域包括ケアシステム

- 団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、**住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を実現**していきます。
- 今後、認知症高齢者の増加が見込まれることから、認知症高齢者の地域での生活を支えるためにも、地域包括ケアシステムの構築が重要です。
- 人口が横ばいで75歳以上人口が急増する大都市部、75歳以上人口の増加は緩やかだが人口は減少する町村部等、**高齢化の進展状況には大きな地域差が生じています。**
地域包括ケアシステムは、**保険者である市町村や都道府県が、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に**応じて作り上げていく必要があります。



《参考資料：厚生労働省作成資料より》

様々な場面で情報共有ができて、外来や退院後の関わり方がスムーズになりました。今後は患者さんの生活機能に関わる介助方法を、医療と介護が双方で実践できるよう勉強会ができれば・・・。



通院や入院・退院にあたっての不安なこと、心配ごとがありましたらどうぞお気軽に看護師や相談員にご相談ください。今後とも関係機関と協力を密にし、必要に応じた情報を提供できるよう努力して参ります。

岩手県立千厩病院 臨床検査技術科

◎検査技師の仕事って？

- 検体検査：血液・尿・便など
- 生理検査：心電図・肺機能・超音波など
- 輸血検査：輸血する時に必要な検査
- 細菌検査：細菌感染の疑いがある時にする検査
- 病理検査：手術などで採取した臓器などを検査する



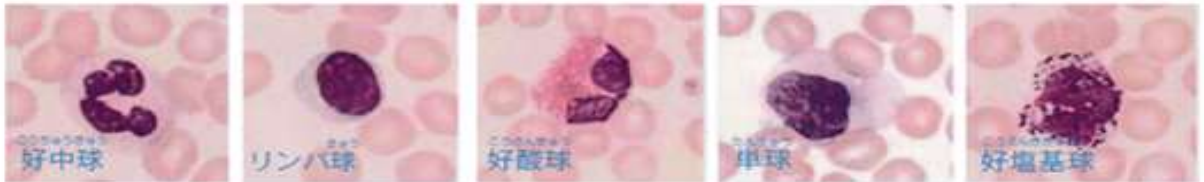
◎たとえば？



尿・便・体腔液（腹水・胸水）などを調べる検査です。尿の検査では腎臓や泌尿器系臓器の状態、膀胱や尿道できた腫瘍についても調べる事ができます。

便の検査には「便潜血検査」「寄生虫検査」が主なものです。体腔液の検査は感染症や腫瘍鑑別などの診断に役立っています。

《 血液を顕微鏡で見ると、こんな細胞が見られます 》



細菌や異物などにより炎症を起こすとその異物を貪食、殺菌します。

ウイルス感染から身体を守る働きがあります。

寄生虫から身体を守ったり、アレルギー反応にも関与します。

好中球より強い貪食、殺菌能を持っています。

即時型アレルギーに関与しています。アナフィラキシー反応蕁麻疹などを引き起こします。

◎心電図とは？



心臓や血管など全身の血液循環に関する状態を調べる検査です。心臓の脈の乱れや狭心症などの病気がないかどうかを調べます。



◎超音波検査には？

腹部、心臓、乳腺、甲状腺、血管などの検査があります。



千厩病院では、検査技師が検査説明をしています
お気軽に声をおかけください



ふれあい慰問の会



令和元年9月20日(金)15時より1階待合ホールにて千厩町女性団体連絡協議会主催で「ふれあい交流慰問の会」が開催されました。藤野宣子会長と宗像院長の挨拶後、藤野会長他会員の皆さんで軽体操から始まり、踊り、民謡、ダンスなどを披露して頂きました。また最後は宗像院長や職員、会場の皆さんと一緒に「北国の春」を歌い、千厩音頭を踊り会は終了しました。

ご覧になった患者さんからは「病院で皆さんの踊りなどを見るができて、とてもうれしかった。」との感想が寄せられました。



花と風を愛でる会

令和元年9月24日(火)15時より当院で福利厚生委員会主催の「花と風を愛でる会」が開催されました。今回で12回目となるこの会は、日頃、院内の花壇を整備していただいている、地域のボランティアの皆さんへの感謝と職員との親睦を兼ねて行われています。

今年は晴れて中庭で開催することができ、この日から地域医療研修できた東京医療センターと国際医療研究センターの2人も参加して、職員含め約40名の参加をいただき委員会で用意したゼリー、ケーキ、お茶やコーヒー等をいただきながら、日頃の各ボランティアの活動などを報告いただき、皆さんで楽しいひと時を過ごしました。



小羊幼稚園収穫祭慰問

令和元年11月14日(木)13時より千厩町にある小羊幼稚園の園児の皆さんがお遊戯と歌を患者さん・職員に披露してくださいました。最後に会場にいらした皆さんへ「収穫祭」の作物とお手紙を園児の皆さんから頂き、たくさんの元気をいただきました。

院内文化祭

令和元年11月26日(火)から29日(金)の4日間、当院1階待合ホール付近で院内文化祭を開催しました。

福利厚生委員会主催で行われ、癒しの空間として、患者さん、ご家族、職員等の作品が展示されました。外来診療の待ち時間や入院患者さん、ご家族など足を止めてご覧になっていました。

来年も開催するときには皆さんの作品をお待ちしております。



院内クリスマスコンサート



令和元年12月11日(水)15時より当院1階待合ホール特設会場にて「院内クリスマスコンサート」を開催しました。

クリスマスコンサートは、ボランティアの皆さんにもご協力いただきなが

毎年開催しております。今年度も千厩「ハンドベルの会」(4回目)「千厩ゴールド合唱団」(5回目)に出演いただき、当院からも職員の有志によるバンドが会場を楽しませてくれました。ハンドベルの演奏や合唱団の歌声に合わせて患者さん、ご家族、職員も一緒に口ずさむなどして、終始和やかな雰囲気でした。宗像院長からはあいさつで「演奏や歌声を聞いて皆さんの心が温かくなったと思う」と出演者の方々へ感謝を伝えました。

福利厚生委員会 佐藤 健

感染管理室から

Part3

○ 新型インフルエンザ患者受け入れシミュレーション ○

当院は第2種感染症指定医療機関であり、両警圏域で新型インフルエンザが発生した場合の対応病院となっています。今年度も令和元年10月18日(金)に千厩町で新型インフルエンザに罹患した患者2名を想定した訓練をおこないました。一関保健所・一関消防署を中心に連携施設である磐井病院の感染制御チームも参加しました。

訓練内容は発生国に渡航し、帰国後に新型インフルエンザを発症するといった事例を想定しました。患者搬送、院内での患者対応、連絡体制など本番さながらの訓練になりました。最近では、中国での新型コロナウイルス関連肺炎が猛威を奮っています。国や厚生労働省の動向を注意しながら、今後の対応について検討していきたいと思えます。

- ・季節性インフルエンザ：インフルエンザウイルスが小さな変異を重ね、毎年世界中で流行
- ・新型インフルエンザ：ほとんどの人が免疫を持たないために大流行してしまう



○ 季節性インフルエンザ対策 ○

潜伏期間：1～3日

臨床症状：発熱、頭痛、倦怠感 など

対応：抗インフルエンザ薬（タミフル、リレンザ、イナビルなど）使用

感染経路：飛沫感染、接触感染

症状がある方はマスクを適切に着用してください

インフルエンザウイルスは環境表面に数時間から数十時間生存していると言われています。ヒトが多く触れるドアノブや手すりに触れた後はアルコール消毒剤で手の

消毒をしましょう。また1日に1～2回程度は環境清掃を行うことも予防になります。
 就業制限：学校保健法に基づき、発熱後5日間且つ解熱後2日間は休みとなります。
 発症（発熱、頭痛、倦怠感など）日を含めたら6日間出席停止となり、その後は解熱した日によって休む日が延期となっていきます。

参考：インフルエンザ出席停止期間基準早見表

(参考資料：奥羽大学ホームページより)

		発症日 (0日目)	発症後 1日目	発症後 2日目	発症後 3日目	発症後 4日目	発症後 5日目	発症した後5日を経過した後	
	発症後1日目に 解熱した場合	発熱	解熱	解熱後 1日目	解熱後 2日目	発症後 4日目	発症後 5日目		
		出席停止	出席停止	出席停止	出席停止	出席停止	出席停止	出席停止	登校可能
	発症後2日目に 解熱した場合	発熱	発熱	解熱	解熱後 1日目	解熱後 2日目	発症後 5日目		
		出席停止	出席停止	出席停止	出席停止	出席停止	出席停止	出席停止	登校可能
	発症後3日目に 解熱した場合	発熱	発熱	発熱	解熱	解熱後 1日目	解熱後 2日目		
		出席停止	出席停止	出席停止	出席停止	出席停止	出席停止	出席停止	登校可能
	発症後4日目に 解熱した場合	発熱	発熱	発熱	発熱	解熱	解熱後 1日目	解熱後 2日目	
		出席停止	出席停止	出席停止	出席停止	出席停止	出席停止	出席停止	出席停止
	発症後5日目に 解熱した場合	発熱	発熱	発熱	発熱	発熱	解熱	解熱後 1日目	解熱後 2日目
		出席停止	出席停止	出席停止	出席停止	出席停止	出席停止	出席停止	出席停止

インフルエンザ流行期はまだ続きます。体調管理に気をつけて乗り越えましょう。

★皆様へのお願い★

- ・入院患者さんを感染症から守るため、当院では1月10日から面会制限を開始し、面会できるのは同居家族のみです。面会する場合は新患窓口で面会票を記入し、病棟で面会許可書を受取り、着用してください。その際マスクを装着し、入口に設置されているアルコール消毒剤で手の消毒を行ってください。また病室内でもマスクは絶対外さないでください。

皆様のご協力をお願い致します。

文責 感染管理室 感染管理認定看護師 石川 泰洋

お知らせとお願い

只今、全国的にインフルエンザが猛威をふるっています。

当院では入院患者さんをインフルエンザ感染から守るため、同居家族以外の病棟内の立入りをお断りしております。

皆様のご理解とご協力を宜しくお願いいたします。

千厩病院長

岩手県立千厩病院

「すべての人びとに安らぎと希望を」

復興と再生へ

~Together As One~

再生への願い【若草リボン】

<http://www.senmaya-hospital.jp>

〒029-0803

岩手県一関市千厩町千厩字草井沢32番地1

TEL 0191-53-2101 FAX 0191-52-3478

編集・発行 岩手県立千厩病院広報委員会

Email:EA1012@pref.iwate.jp

